

ワークショップ

アジアの思想を読む

—中江兆民を中心に—



日時■2015年2月22日(日)

14:00～ [18:30 終了予定]

※18:45～懇親会(10号館12階)

場所■成蹊大学10号館2F大会議室

井田進也・宮村治雄

進行：山田央子（青山学院大学 教授）

- 第一部 報告 宮村治雄 「「経綸」と「理学」の間——『三酔人経綸問答』を読む」
- 第二部 対話 井田進也・宮村治雄 「中江兆民を語る」

井田進也 先生

大妻女子大学名誉教授。文学博士。東京大学大学院比較文学比較文化研究科修了。福澤研究センター客員研究員。主著に『中江兆民のフランス』（1987年）、『歴史とテキスト——西鶴から論吉まで』（2001年）、『二〇〇一年の中江兆民——憲法から義太夫節まで』（2001年）がある。『中江兆民全集』（全17巻、1983-86年）共編者。

宮村治雄 先生

成蹊大学法学部教授。法学博士。東京大学大学院法学政治学研究科修了。専攻は日本政治思想史。主著に『理学者 兆民——ある開国経験の思想史』（1989年）、『開国経験の思想史——兆民と時代精神』（1996年）、『丸山真男『日本の思想』精読』（2001年）、『新訂 日本政治思想史—「自由」の観念を軸にして—』（2005年）、『戦後精神の政治学—丸山真男・藤田省三・荻原延壽—』（2009年）などがある。

主催 成蹊大学アジア太平洋研究センター (CAPS)
〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
Tel: 0422-37-3549 Fax: 0422-37-3866 www.seikei.ac.jp/university/caps/



後援：思想史研究会